



NO. 286

2017. 4. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会

大阪市天王寺区東高津町12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 小泉 いと子

TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623

<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

新年度を迎えて ～法人内各施設より～

平成29年度となり、法人内事業所においても管理者をはじめ人事異動がありました。(詳細は7面・8面に掲載しています。)

4月号では各事業所の管理者から平成29年度を迎えての思いや目標を書いていただきました。

105%を目指して

法人事務局
事務局長 飯塚 聡

近年、全国手をつなぐ育成会連合会(以下、全国連合会)では、会員が年々減ってきていることが課題となっています。そこで活動のあり方を中央からのトップダウン型から、各地の都道府県育成会と政令市育成会(以下、正会員育成会)で合意をしながら進めていく形に変化をしようとしています。

つまり、今までは正会員育成会は全国連合会という大きな傘の下で活動していました。しかし、全国連合会から発信された課題とそれぞれの育成会で抱えている課題に差異があることもありました。例えば、少し前の全国大会でもシンポジストから「地元の過疎化により、子どもの日中活動の事業所利用者の年齢層が幅広くなると同時に障がいの種別も多岐に渡り、専門的な支援が受けることが出来なくなった。」とありました。しかし、この事実は全国各地にあると思いますが、大阪市に当てはまりません。このような地域間での差異が多くなってきたため全国連合会としては、全



の活動方針を示すことも難しくなっていました。そこで、これからは正会員育成会がそれぞれで自発的に活動を行い、全国連合会とは共通した課題について活動を共にしていくという方針に切り替えてきます。

ここでポイントになるのが「自発的な活動」という点です。自分たちの地元の会活動を広げるのも狭めるのも、それぞれの育成会の持つ感覚で決めていくこととなります。私の個人的な意見としては、会の発展と継続性から考えると、今後の育成会の自発的な活動は、今の活動が100%なら、少し背伸びをすれば出来そうな105%くらいの目標を掲げ、少しでも活動を拡大しようという意識を持つことが大事だと思います。一方で、現在の状況にちょうど合った目標を掲げても、現状の活動に留まってしまい「のびしろ」を持たなくなります。

最近制度や仕組みが充実してきているため、育成会からの声で制度や仕組みが改善されても、大きな変化でないため一般の方に伝わりにくい状況にあります。このように活動が見えてこないため全国的に会員数が減ってきていることもあります。大阪市育成会でも同じ状況にあり、新たな会員を増やしていくことが課題となっております。そのためにはこれまでと違った視点で、手をつなぐことを求めている方へのアプローチ方法を役員の方々と検討してまいりたいと思います。

結びになりますが、会員の皆さまにとっても、職員にとっても「大阪市育成会に入っていて良かった。」という声が多くなり、魅力ある大阪市育成会にしたいと思います。そのためには、小泉理事長をはじめ役員の方々の皆さま、会員の皆さまと法人職員が協力して、意見を交わしながら、よりよい大阪市育成会になるようにして努めてまいりますので、今後とも、皆さま方のご支援の程をよろしくお願い致します。